

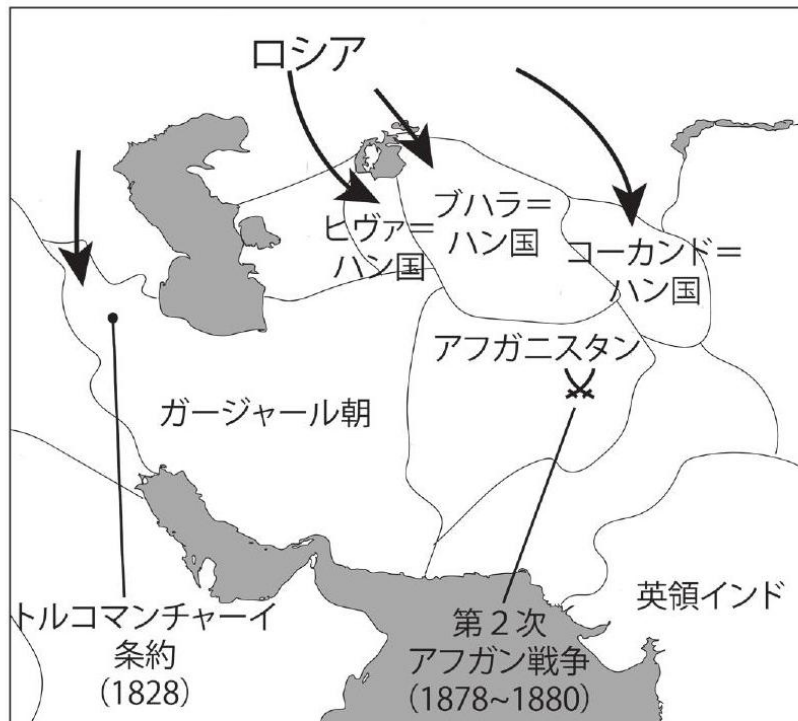
欧米列強の西・南・東南 アジアへの侵略



詳説世界史講義①

~2026年~

▼ロシアとイギリスの圧迫を受けるイラン



▼英露協商成立後のイラン・アフガニスタン



グレートゲーム



▼インドにおけるヨーロッパ勢力の拠点



今のインドは
イギリスの
お陰って？

- ① 英語教育の浸透
- ② 世界で最も長い鉄道
- ③ 啓蒙思想 *特に女性差別

***寡婦殉死(サティー)**



ラーム=モーハン=ローイ の活躍 で1829年に廃止

by ベンティング (のちのインド総督)

1829年に廃止



寡婦殉死
(サティー)



インドダイニング&バー



Indian Dinning & Bar SATHI

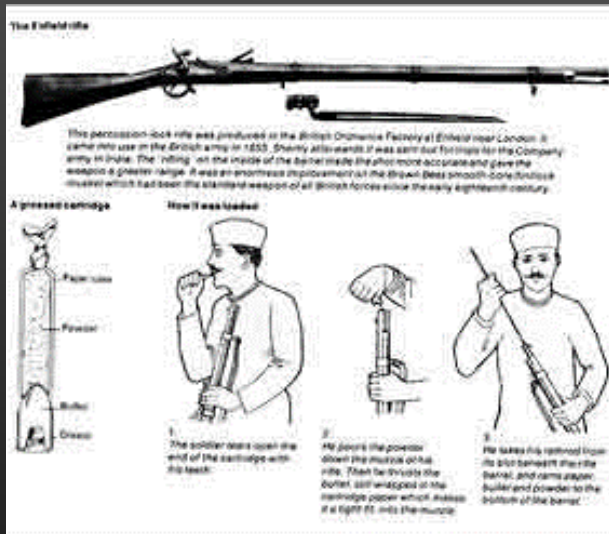
バーディコース
90分コース ¥4,500
120分コース ¥4,000
120分コース ¥3,500
Take Out OK! 550円

ナン・ライス・カレー・サラダ・デザート・ドリンク 550円



インド職工の骨が
インド原野を
白く染めている

インド総督 ベンティング (※カール=マルクス?)



インフィールド銃

英首相ディズレーリ

ヴィクトリア女王

ラクシュミー
ニバーイー

1877年
インド帝国の成立

§26：欧米列強のアジア東進

① インドにおける東インド会社統治（一人走りをする東インド会社）

1744年：カーナティック戦争（～63：3次） ＊デュプレクス（仏）

1757年： ① の戦いで勝利（×仏・ベンガル太守）

58年：ベンガル知事〈初代： ② 〉設置

⇒ 64年：ブクサーの戦い… 東部3州の ③ を獲得

73年：ベンガル総督〈初代：ヘースティングズ〉に改称（マドラス・ボンベイも統括）

1813年：東インド会社印貿易独占権廃止 33年：対中国貿易独占権廃止（⇒インド総督に改称）

33年：商業活動停止（※34年より実施）

- | | |
|-----------------------|-------------------------------|
| ① マイソール戦争（4次：1767～99） | ② ニザーム（ハイデラバード）王国を軍事保護（1798） |
| ③ マラーター戦争（3次：1775～18） | ④ セイロン島獲得（1815） |
| ⑤ ネパール併合（1816）… グルカ戦争 | ⑥ シク戦争（2次：1845～49）⇒パンジャブ地方を併合 |
| ⑦ アワド王国併合（1856） | ※地図を参照し流れを覚える!! |

税制 ① ④ 制（inベンガル地方） ② ⑤ 制（in南インド）

経済 イギリスで産業革命が始まり…

インドの経済はこうなった…



《インド大反乱》 ＊ビハールを拠点

1857年： ⑥ （⇐メーラトの反乱）

① シパーヒーの ⑦ 城占拠 ⇒ シパーヒーはムガル皇帝〈バハドゥール＝シャー2世〉を擁立

② ジャーンシーの反乱〈by 藩王妃：ラクシュミー＝バーイー〉

1858年： ⑧ 滅亡、⑨ 解散（＊“総督”⇒“副王（インド政庁）”と呼ぶ、インド省を設置）

77年：インド帝国成立… 都：カルカッタ（～1911年） インド皇帝：ヴィクトリア女王

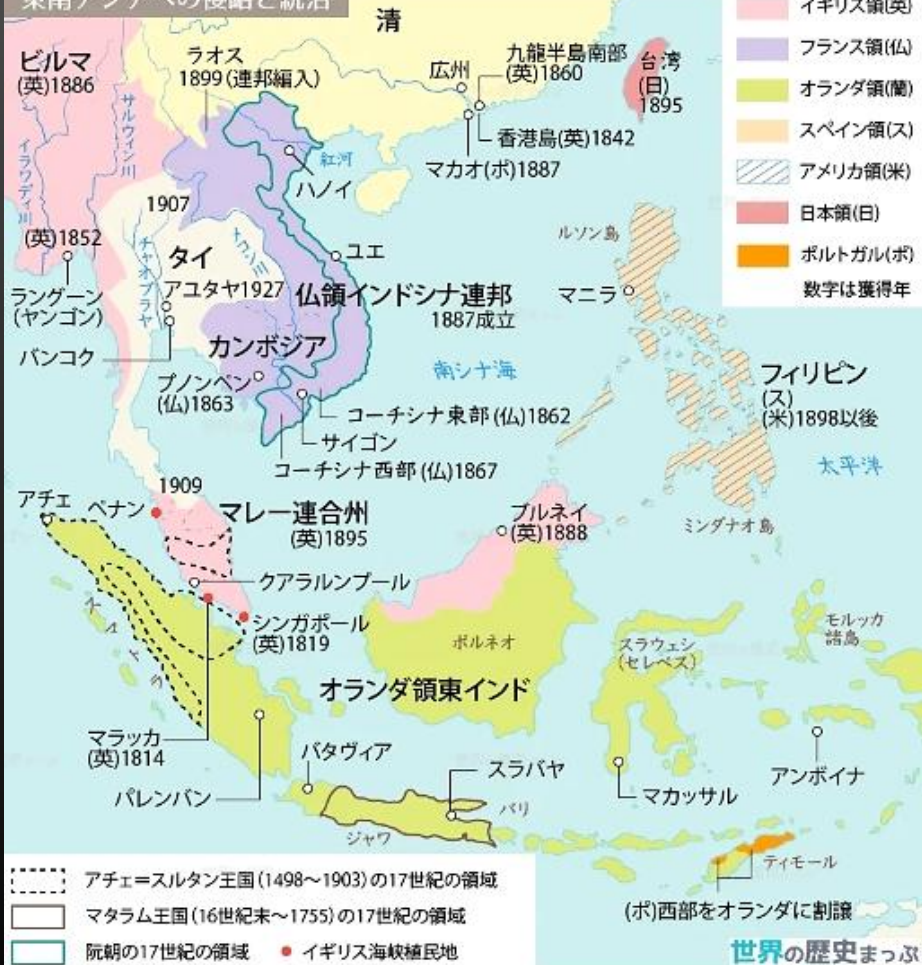
（体制）直轄地+ ⑩ ＊分領統治とは？ （編入）1886年： ⑪ 朝ビルマをインド帝国へ

＊アッサム州の攻防

▼英領インド



東南アジアへの侵略と統治



⑧マレー半島

1786年: 12 } 26年
 1819年: 13 } 15
 1824年: 14 } (67年に直轄化)
 88年: 北ボルネオ領有
 95年: 南部諸地域で 16 を形成
 ＊ラッフルズとジョホール王

⑨ジャワ・スマトラ島 (オランダ領東インド)

1799年: オランダ東インド会社解散 ⇒ オランダ政府を設置
 1824年: イギリス=オランダ協定 (＊マラッカを英に割譲)
 25年: 17 戦争 (by ジョグジャカルタの王族)
 30年: 18 <オランダ総督ファン=デン=ボス>
 73年: 19 戦争 (～1904年) スマトラ北西部
 ＊カルティニ (女性解放運動)

⑩タイの独立維持 ラタナコーシン朝 (チャクリ朝, 1782～) 都) バンコク

☆現在に至るまで独立を維持できた背景とは?

＊ 1 ＊1855年: 2 (ラーマ4世の時)
 ☆ 25 (チュラロンコン王, 位1868～1910)

独立維持と西欧的近代化に努力… 19世紀後半: チャクリ改革 (奴隷制廃止や鉄道敷設・郵便制度など近代化)

⑪フィリピンの民族運動 ＊政教一致体制 (スペインの統治体制 = カトリック)

18世紀末: マニラ開港 (1834年に正式開港) ＊マニラ麻の輸出
 19世紀末～: 独立運動の活発化 ① ホセ=リサル ② ボニファシオ ③ アギナルド

⑫その他の周辺地域について

①セイロン (1815): ポルトガル ⇒ オランダ領, ナポレオン戦争中にイギリスが占領 ⇒ ウィーン会議で承認
 ②ネパール (1816): ネパール戦争 (グルカ戦争1814～16) ⇒ 保護国化
 ③ビルマ (1886): ビルマ戦争 (3回, 1824～26, 52～53, 85) ⇒ コンバウン朝 (アラウンバヤー朝) 滅亡
 ⇒ 全ビルマをインド帝国に編入 ＊中心都市: ヤンゴン発展

■東南アジアの植民地化



⑨ベトナム（越南国 = 阮朝：1802～1945）

1771年～：西山の乱（阮氏3兄弟が広南王国を滅ぼす → 西山朝樹立）

1802年： 20（嘉隆帝）が西山朝たおす〈+フランス人宣教師ピニョーの支援〉

58年：仏越戦争（インドシナ出兵：～62） × 仏：ナポレオン3世（← スペイン宣教師殺害事件）

62年：サイゴン条約（キリスト教布教自由，コーチシナ東部3州の割譲）

＊北部：トンキン 中部：アンナン 南部：コーチシナ

63年： 21 保護国化 74年：ソンコイ川航行権獲得（第2次サイゴン条約）

82年：トンキン占領 → ナム＝ディンの戦い（×黒旗軍〈 22 〉）

83・84年：フエ（ユエ）条約〈仏大使アルマン〉… フランスがベトナムの保護国化を宣言！

84年： 23 戦争（← 清がベトナムの宗主権を仏に主張） × ←

85年： 24 〈李＝パトノートル〉条約… 清がベトナムの宗主権放棄

87年：フランス領インドシナ連邦成立… 総督：ハノイ

93年： 25 を保護国化（→ 99年：フランス領インドシナ連邦へ編入）

※ラーンサーン王国（14～18c初）と三国分立とタイ・フランスの支配

頤和園(北京)

2学期 第6講②
東アジアの激動（清朝衰退）
アヘン戦争～戊戌の政変まで

円明園(北京)



香港島から九龍を臨む



九龍半島南端
(ネイサン通り)





新界地区 (九龍半島北部)



りんご日報

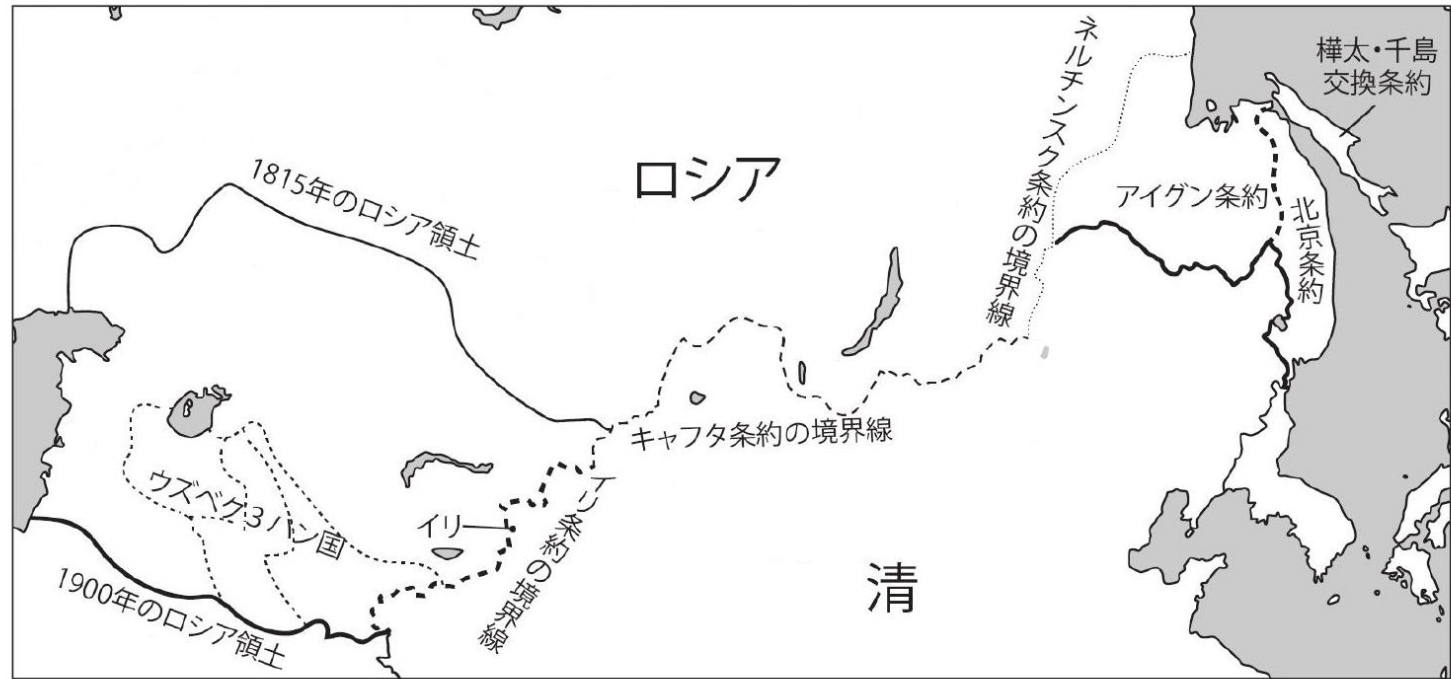


香港国家安全維持法 (2020)



雨傘運動 (2014年)

▼ロシアの極東・中央アジア進出

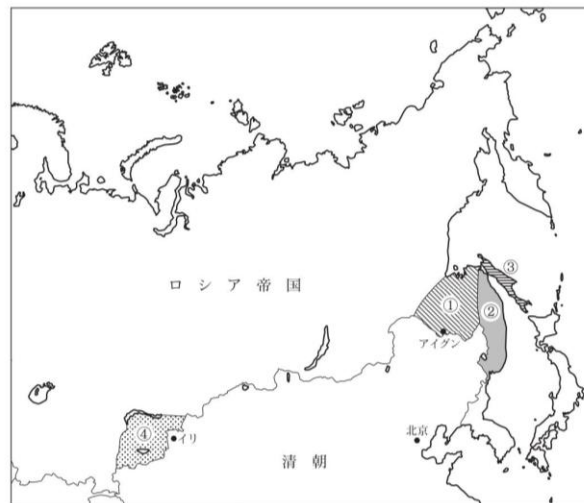


§27: 東アジアの激動

① ロシアの極東進出

- ①イヴァン4世（雷帝，位1533～84）： ① がシビル＝ハン国征服（1582） 狙い 毛皮の獲得
- ②ピョートル1世（位1682～1725）：清（康熙帝）と ② 条約を締結（1689）
⇒ 満洲方面の国境画定（スタノヴォイ山脈～アルグン川）
③ の探検… 海峡発見（ピョートル死後）⇒ アラスカへ進出
- ③エカチェリーナ2世（位1762～96）： ④ の根室来航（1792）
- ④アレクサンドル1世（位1801～25）：レザノフの長崎来航（1804）
- ⑤ニコライ1世（位1825～55）：東シベリア総督設置 *47年～71年： ⑤
- ⑥アレクサンドル2世（位1855～81）：
・ ⑥ 条約（1858）… 黒竜江以北獲得，沿海州の共同管理
・ ⑦ 条約（1860）… 沿海州（ウスリー川以東）獲得
⇒ ウラジヴォストーク建設（1860～）
・ プハラ＝ハン国①（1868），ヒヴァ＝ハン国②（1873）の保護国化
・ ⑧ 条約を日本と締結（1875）
・ コーカンド＝ハン国③併合（1876） *①②③＝ウズベク系3ハン国
・ 東トルキスタン反乱 ⇒ 露清軍ともに出兵（“ ⑨ 事件”）
⇒ 1881年： ⑨ 条約（in ペテルブルク）… 国境を有利に画定
- ⑦アレクサンドル3世（位1881～94）：シベリア鉄道の着工（1891）… ⑩ 資本を得て着工，1916年に完成

■露清・日露国境の推移



- ①アイグン条約（1858）：ロシアがアムール川以北を獲得
②北京条約（1860）：ロシアが沿海州を獲得
③樺太・千島交換条約（1875）：樺太がロシア領，千島が日本領に
④イリ条約：イリ地方の一部を獲得

⑧アヘン戦争 (1840～42) 《道光帝》 *白蓮教徒の乱 (1796～1804)・天理教徒の乱 (1816)

原因) ⑪ (欽差大臣, 広州) によるアヘン没収・廃棄と通商禁止

1840年: 勃発 → 41年: 平英団事件 (民衆による反英運動) → 42年: ⑫ 条約

(内容) ① ⑬ 割譲 ② 5 港開港 ③ ⑭ 廃止 ④ 賠償金の支払い
⑤ イギリスの戦費支払い ⑥ 中英両国官憲の対等交渉 *朝貢貿易 → 自由貿易

43年: 五港通商章程 (領事裁判権), ⑮ 条約 (①関税自主権喪失 ②最恵国待遇 ③土地租借)

44年: (米) ⑯ 条約, (仏) ⑰ 条約 45年: 租界の設定 (in 上海)

⑨第2次アヘン戦争 (1856～60) = 別名: アロー戦争 《咸豊帝》

原因) 英: アロー号事件 仏: フランス人宣教師殺害事件

1856年: 勃発 → 58年: ⑱ 条約 (英仏米露) → 保守派による攻撃・戦争再開

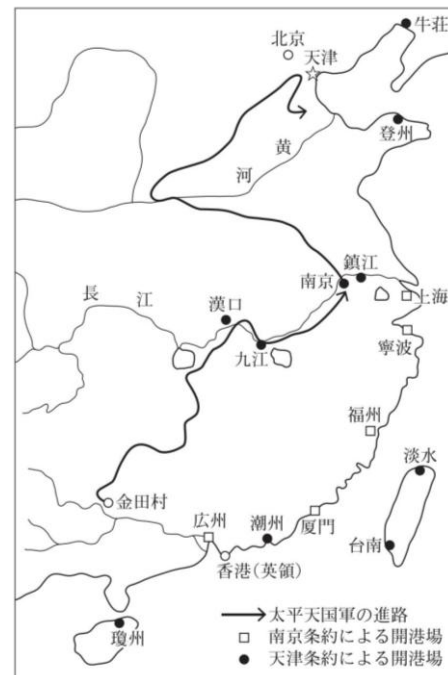
60年: 英仏軍の北京占領 (⑲ の破壊) → 咸豊帝は熱河へ逃亡・ ⑳ 条約締結

(内容) ① 外国公使の北京駐在 (㉑ の設置) ② キリスト教布教の自由
③ アヘン貿易公認 ④ 長江の航行自由 ⑤ 外国人の中国内地旅行の自由
⑥ 外国渡航公認 ⑦ 10港開港 (淡水・登州・南京など) ⑧ 賠償金

* 北京条約での追加内容) ①天津開港 ② (英へ) ㉒ ・ (露へ) ㉓ ③賠償金増額

* 『海国図志』〈魏源〉… アヘン戦争・アロー戦争などの中国国内の緊張状態を背景に政治論を展開

■アヘン戦争・アロー戦争・太平天国の乱



㊦太平天国の乱 (1851～64) in 広西省金田村 客家出身 *18～19世紀：ミャオ族の反乱

1851年： 24 ・馮雲山 (25 の結成) らが拳兵 (← ロバート＝モリソンの影響)

53年：南京占領 (→ 太平天国の都： 26 に改称)

53年：捻軍の反乱 (～68) …白蓮教系 (in 長江～河南)

→ but！内紛〈石達開・李秀成ら〉, 列国態度 (★ 1)



27 〈湘軍：曾國藩, 淮軍：李鴻章, 楚軍：左宗棠〉

28 〈米；ウォード, 英：ゴードン (のちにスーダン総督になる)〉らの活躍

《太平天国の諸政策》

① (スローガン) “ 29 ” ②悪習 (辮髪・纏足) の禁止 * “長髪賊” (太平天国の呼称)

③男女平等 (女性の兵士・科挙) ④儒教排斥 ⑤ 30 (土地均分化 ← 「周礼」を範)

㊦ “同治中興” 時代の洋務運動 (1862～74)

(皇帝) 31 帝 (摂政) 32 (母としての垂簾聴政) (補佐) 恭親王 (咸豊帝の弟)

(メンバー) 洋務派漢人官僚 〈曾國藩・李鴻章・左宗棠*・張之洞〉

(スローガン) { 近代工場 (軍需工場・造船所・製鉄所)・海軍創設 (北洋艦隊)

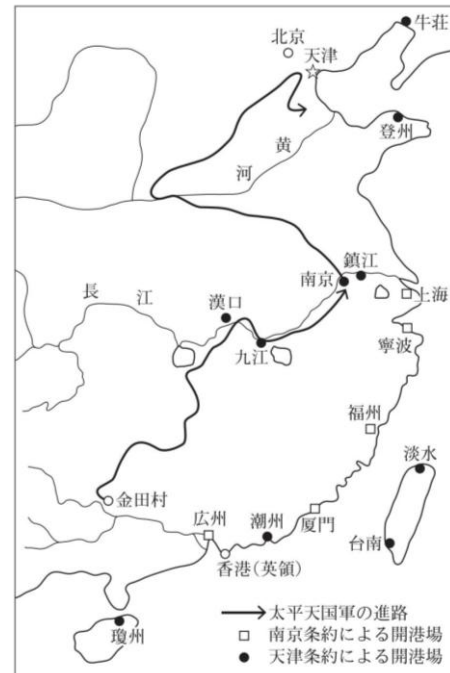
“ 33 ” { 鉱山開発・鉄道敷設・外国語学校設立 *回民の反乱 (ヤークーブ＝ベク) を平定

㊦ 変法運動 (1895年以降) とその挫折 “変法自強”

(皇帝) 34 帝 (メンバー) 公羊学派 〈 35 ・梁啓超・譚嗣同〉

1898年：戊戌の変法 (百日維新) → 36 (by 西太后ら右派クーデタ, 軍人： 37 の背信)

■アヘン戦争・アロー戦争・太平天国の乱





西太后



同治帝



光緒帝



袁世凱